

2025 年 9 月 2 6 日

審査講評

伊南行政組合昭和伊南総合病院新病院建設基本計画見直し業務委託
公募型プロポーザル審査委員会
審査委員長 村岡 紳介

この公募型プロポーザルは、令和 5 年 2 月に策定した「昭和伊南総合病院新病院建設基本計画」を設計事業者の立場で見直す受託者を選定する目的で実施しました。

人口減少・少子高齢化の進行や、社会保障費の抑制に向けた医療制度の変化、地方部における医師不足など、医療・病院経営を取り巻く環境は大きく変化しつつあると同時に大変厳しいものがあります。加えて昨今の恒常的な職人不足、建築資材の高騰、建設需要の増加などによる建設費の高騰が進んでおり、新病院建設を進めるにあたっては基本計画に立ち返り見直すことが必要となりました。このような状況下において、今後数十年に渡り地域住民の安心の拠点となる新病院建設の基本計画見直しは今後の病院経営に直結し、住民生活にも係わる大変重要なものと認識しています。それだけに本業務の受託者には高い専門性や十分な実績・ノウハウを求めるとともに期待を寄せるところです。

さて、今回技術提案を提出された 2 者様は、この業務に必要とする十分な知識・経験を有しているほか、当院の現状や建設候補地の特性などを調査しており、いずれの提案も優れた内容でした。特に、受託候補者に選定した技術提案は永続的な病院運営に向けた新病院建設について多角的に検証する提案をいただき、実施手順においては医療コンサルタントやコンストラクション・マネジメント事業者との連携、対話を重視した提案があり、建築コスト削減の提案についても実績に基づいた具体的でかつ現実的な提案がなされており、提案者の熱意を強く感じられ全体的に評価は高い水準となりました。

受託候補者以外の企画提案におかれましても、具体的で説得力のある提案がなされており、十分な業務遂行能力があると感じられましたが、医療コンサルタントやコンストラクション・マネジメント事業者と連携の部分で若干弱い面が見受けられたこともあり評価が伸びなかったものと感じます。

しかしながら、いずれの提案もそれぞれに高い水準であり、限られた日程の中で精力的にこのプロポーザルに取り組んでいただいたと感じております。

参加者様には当院の将来に対して熱意をもってご提案をいただいたことに関しまして、ここに改めて敬意と感謝を申し上げ審査講評とします。